

# 第3回 地盤技術講習会(その1)

## テーマ:「ニューマーク法ってどんな方法?」

主催：静岡県地質調査業協会

後援：(社)関東地質調査業協会

日時：平成22年7月30日(金)

10:00~12:00

場所：静岡商工会議所会館 403会議室

(静岡市葵区黒金町20-8)

CPDH:2.0

参加費：静岡県地質調査業協会会員

及び協会がその必要を認めた方 **無料**  
その他の方 1,000円

<申し込み・応募方法>

締切り日：平成21年7月23日

定員：60名

問合せ先：054-247-3316(柴田)

申込先：ジオ・スクーリングネット会員は、各自にて申し込みください。(自動的に登録されます。)

その他の方は、FAX054-246-8011まで「講習テーマ、所属、氏名、CPD登録先」を記載して送付願います

FCENA/Xシリーズ

### <プログラム>

#### 「斜面安定解析 ニューマーク法の概要と使い方」

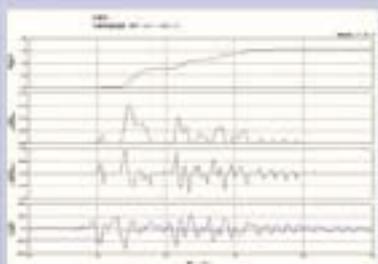
講師：富士通エフ・アイ・ピー(株)

10:00~12:00(休憩・質疑応答を含む)

### <講習会内容>

- ・道路土工「盛土工指針」の高盛土でのレベル2地震動に対する照査法のひとつとして紹介され、変位・変形量(残留変位量)を算出するニューマーク法について解説
- ・計算手法の概要
- ・入力値(土質定数・地震波)の考え方
- ・アウトプットの見方

### ニューマーク法による滑動変位量計算機能



#### 「鉄道構造物等設計標準 耐震設計」

運輸省鉄道局監修の盛土の変形計算法に対応。

盛土のレベル2地震動に対する設計法として、地震によって生じる残留変形量を算出し、許容変形量を照査する「変形性能照査による設計法」が可能です。COSTANAの内張すべり計算の入力パラメータに、地震波を指定するだけで、ニューマーク法によるすべり土塊の滑動変位量が計算できます。

滑動時の強度低下(ピーク強度および残留強度)が考慮できます。

・耐荷強度低下

・暫荷強度低下(砂礫依存軟化特性を考慮)

TSU

第15号